

横手駅前商店街

(横手駅前商店街振興組合)

秋田県横手市

！取組のポイント

駅前再開発にともない、商店街内部に事業委員会を設置、駅前商業施設などと商店街の連携を強化。

取組の背景

アンケート結果を鑑み、個店の認知度向上

「よこてイースト」（駅前再開発事業により整備された商業施設、公共公益施設、イベント広場などを有する複合施設）を中心に行ってきた通年イベントの効果を検証するため、消費者アンケートを実施。その結果、食のイベントの不足、欲しい商品がない、個店の商品やメニューがわからない等の意見があった。そこでイベント事業の見直しや商店街マップ作成事業を行い、課題であった街区内の個店やその商品・サービス内容についての認知度を高めることができた。また、ターゲットとしていたファミリー層の姿も多く見かけるようになった。

しかし、個店の売上の大幅アップなど、はっきり目に見える形での効果が上がったとは言えず、改善すべき点が残されていた。

取組の内容

「よこてイースト」と連携し、楽しめる空間づくり

横手駅前商店街では、「よこてイースト」の開業を契機に3カ年の活性化事業計画を策定し、2011年度に地域商店街活性化法の認定を受けた。以降、商店街内部に設置した「よこてイースト事業委員会」が中心となり、商店街と「よこてイースト」との連携や効率的活用について検討し、来街者にとっていつ来ても楽しめる空間づくりや、「よこてイーストまつり」、「納涼まつり」などのイベント事業を積極的に展開してきた。

その後、2014年3月に3カ年の事業が終了したことから、これまでの事業の成果・課題を踏まえて、当商店街活性化の第2フェーズとして2014年度以降の「地域連携活性化事業計画」を作成した。事業の実施にあたっては、企画段階から商店街の若手や女性を登用しながら、特に女性の感性や新しいアイデアを取り入れ、組織の若返りと強化、地域と連携した魅力ある商店街づくりを目指している。

「よこてイーストまつり」の様子



地元伝統行事を取り入れた「納涼まつり」

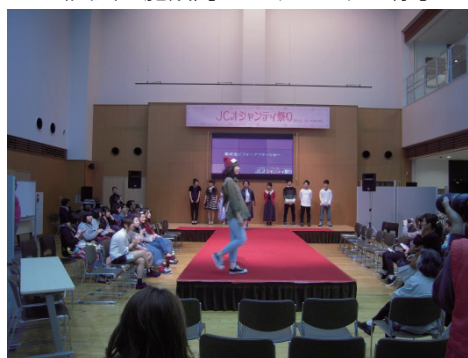


取組の成果

相乗効果で幅広い年齢層の来場者が増加

商店街が子ども向けから高齢者向けの各種イベントを実施したことで、市内外に「よこてイースト」の存在を認知させることができ、イベント来場者が増加した。また、イーストに併設されている公共公益施設も開業4年目で利用者が100万人を突破した。

公共公益施設内でのイベントの様子



さらに、イベントを通して地域の団体、個人とのつながりが生まれ、イベントへの参加協力体制が出来上がってきた。中にはイベントの運営自体を任せられるグループも出てきている。

商店街の通行量は、過去の調査結果を見ると、大型店や総合病院などが立地営業していた1992年の全盛期以降2009年まで減少し続けていたが、2011年以降は、イベント事業の実施効果などにより徐々に回復傾向にある。

また、周辺の空き店舗に若い創業者が複数開業したことは大きな成果である。

その他、これまでの商店街事業が非組合員にも評価され、組合員が増加するなど、組織強化の面でも着実に事業の効果が現れている。

実施体制

商店街役員、横手市、横手商工会議所、外部有識者で商店街活性化事業委員会を組織し、全体の事業の管理、評価、助言を行っている。2014年度からの実際の事業については、商店街専務理事をリーダーとする「わいわいワイド事業委員会」が企画、実施、調整などを行っている。また、若手・女性で構成する「きらめきプロジェクトチーム」を編成し、女性の感性や視点を取り入れた事業体制を構築し、イベント事業に関してはNPO、青年会議所、地域サークルとの連携体制が確立されている。

若手・女性による企画会議



キーパーソンからのコメント

横手駅前商店街振興組合
専務理事 黒丸 雄平



若手・女性の感性を活かして！

商店街区全体に継続的な賑わいを創出するために、地域の特産品や各個店の名物メニューを活用した飲食イベントや産直市を定期的で開催するだけでなく、これらのイベントを地域の伝統行事とあわせて開催するなどの工夫を凝らしてきました。

また、商店街が活動していくための組織を強化するため、若手・女性で構成するプロジェクトチームを発足し、マップ作成など若手・女性の柔らかな視点や発想を活かした企画で事業を実施することで、組織の若返りを図りました。

地域資源を組み合わせた継続的事業の確立

「よこてイースト」内の施設を使って自主的なイベント開催ができるように、イベント実施者を支援する「イベントコンシェルジュ」事業を強化しています。これは、当組合の賑わい創出事業だけではまかないきれない部分を、地域サークル・団体・個人などが、商店街区内で継続的にイベント等を開催していただくためです。これによって商店街に賑わいを継続的に創出したいと思っています。

また、地元伝統行事や地域資源などを取り込んだ事業を展開することで、商店街を市民の発表の場、交流・体験の場として位置づけていきたいと思っています。

基本データ

所在地	秋田県横手市大町
人口	約9万人(横手市)
電話/FAX	0182-32-1170/0182-33-5642
関連URL	http://yokote-east.com
会員数	39名
店舗数	34店舗(買回り品小売店2、最寄品小売店6、飲食店9、サービス店15、その他2)
商店街の類型	地域型商店街
主な客層	主婦、学生・若者、高齢者

商店街概要

横手駅前商店街振興組合は、1973年に設立した。かつては横手市で最も活気ある商業エリアだったが、郊外型の大型店や専門店などの進出により、次第に勢いが衰えていった。その後、集客の核だった大型店の撤退と総合病院の移転にともない、通行量の減少、店舗の廃業がさらに進んだが、2011年に横手駅が改装され、橋上駅舎化されると同時に、病院跡地利用と横手駅東口の再生を盛り込んだ「横手駅東口再開発事業」を実施し、公共公益施設・イベント広場などを備えた「よこてイースト」が誕生したことで、活性化への新しいまちづくりが進められている。